

おおたま

2021

No. 121

令和3年5月発行



外遊びでエンジン全開!!
(大玉村保育所)

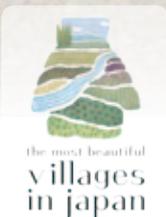
3月定例会開催..... P 2~9

令和3年度当初予算 一般会計総額44億7,646万円

予算審査特別委員会の審査と意見

一般質問 ここが聞きたい 8人の議員が登壇..... P 10~17

明日を担う新成人に聞きました! 新成人の声..... P 18



大玉村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

3月定例会開催

3月定例会は、2日から15日までの14日間の会期で開かれました。内容は、村長提出案件35件（専決処分2件、条例制定1件、条例改正13件、条例廃止1件、指定管理者の指定2件、補正予算7件、令和3年度一般会計等当初予算8件、人事案件1件）および議員発議2件、合わせて37件が提出され、審議した結果、原案のとおり可決しました。なお、陳情が1件提出され、審査の結果は9ページのとおりです。

感染症に負けない村づくりに

前年度比4.3%増↑

一般会計

44億7,646万円

商工費 8,724万円

- 夏まつり実行委員会補助 550万円
- アットホームおおたま指定管理業務委託 1,500万円

土木費 5億9,328万円

- 道路新設改良事業 7,061万円
- スマートIC 広域的検討業務委託 1,500万円

消防費 1億5,611万円

- 安達地方広域行政組合消防費負担金 1億2,536万円

教育費 5億6,259万円

- 学校給食費補助 2,224万円
- 学校ICT推進事業 764万円
- 野内与吉顕彰資料展示業務委託 100万円

災害復旧費 1,226万円

公債費 4億5,879万円

総務費 6億9,681万円

- デマンドタクシー運行 1,490万円
(新型コロナウイルス対策増車分含む)
- 定住促進対策補助金 720万円
- 台湾交流事業 1,348万円

民生費 10億9,091万円

- 高齢者健康管理事業 426万円
- 児童手当 1億6,352万円
- 子どもの医療費助成 4,931万円
- 保育所駐車場整備 300万円

衛生費 3億1,882万円

- 健康長寿推進事業 336万円
- 妊産婦健康管理事業 1,068万円
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業 5,530万円

農林水産業費 3億7,965万円

- 米の食味等分析業務委託 200万円
- 収入保険加入促進補助 39万円
- 幹線排水路機能保全計画策定業務委託 1,000万円
- 有害鳥獣防護柵設置補助 350万円

新年度

当初予算

新型コロナウイルス感

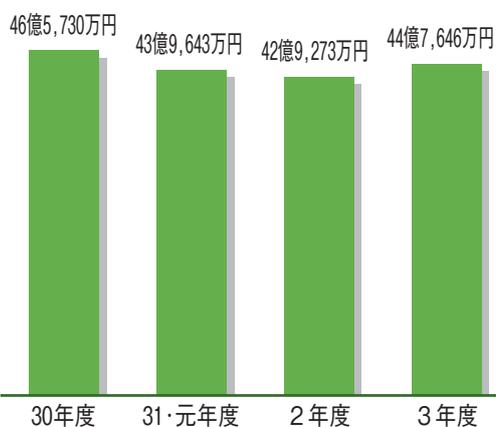
最重点施策

1. 新型コロナウイルス感染症対策
2. 住宅取得支援補助制度などの定住人口増加対策
3. 第1子の保育所保育料の無償化
4. 学校給食費の5割補助
5. 小中学校のICT推進
6. 有害鳥獣対策
7. 農業振興公社設立の推進
8. 東北自動車道スマートインター誘致への推進

令和3年度 予算額

会計名	予算額	対前年度比	
一般会計	44億7,646万円	4.3%増	
国民健康保険特別会計	8億9,491万円	0.4%増	
玉井財産区特別会計	434万円	14.1%減	
農業集落排水事業特別会計	1億1,707万円	5.8%減	
土地取得特別会計	1,961万円	344.2%増	
介護保険 特別会計	(保険事業勘定)	7億7,325万円	2.7%増
	(介護サービス事業勘定)	10万円	61.5%減
後期高齢者医療特別会計	7,169万円	1.2%減	
水道事業 会計	(収益的支出)	1億4,979万円	9.3%減
	(資本的支出)	1億7,352万円	32.8%増

一般会計予算の推移



次ページからは分科会での質疑と予算審査特別委員会の審査意見を紹介します。

3/15

本会議

- ・ 議案審議
- ・ 予算審査特別委員会の審査結果報告

3/12

予算審査特別委員会

- ・ 分科会の審査報告
- ・ 予算審査特別委員会の審査結果を集約

3/9~

総務文教分科会
産業厚生分科会

- ・ 予算審査

3/8

予算審査特別委員会

- ・ 総務文教分科会・産業厚生分科会を設置

3/2

本会議

- ・ 議案の一括上程
- ・ 提案理由の説明

当初予算は、次のように議会で審議します。

当初予算が
決まるまで!!

新年度予算を問う

分科会質疑

ピックアップ

分科会では、村政全般にわたり多くの質疑がありました。その中から、いくつか紹介いたします。

総務文教分科会

政策推進課

公共交通システム

問 公共交通の集約や見直しの現状は。

答 職員による検討を行っている。令和3年度中に公共交通政策検討委員会で結論を得たい。利用者が不便を来たさないよう検討していきたい。



税務課

税金の滞納

問 これまでの税金の滞納総額と今後の方針は。

答 平成に入ってから累積で、村税と国保税合わせて約1億5千万円の滞納繰越がある。時効等による不納欠損とならないよう適正な滞納処分を継続執行していく。

教育総務課

幼稚園の職員確保

問 幼稚園は3年保育により業務が増えている。子どもたちの支援をする職員の数を増やし、より余裕の持てる人員配置はできないか。

答 子どもたちの見守りは職員数が多ければ多いに越したことはないが、ある程度の幅を持たせて、現在の体制で運営していく。

GIGAスクール

問 GIGAスクール事業の進捗状況は。

答 全国的な導入やコロナ禍によりタブレットの納品に遅れが生じている。6月からの運用を見込んでおり、ICT支援員を配置し、教職員の負担とならないよう取り組んでいきたい。

小学校鼓笛隊

問 コロナ禍で小学校鼓笛隊の引継ぎができず、令和3年度は鼓笛隊活動を見合わせると聞いた。継続はできないのか。

答 鼓笛隊の中止は村の校長会でも話し合った。授業時数以外の活動であり、コロナ禍や学習指導要領の改訂もあり授業時数の確保に苦慮している状況である。一度なくなれば再開は難しいことは理解しており、教育委員会も一緒に検討する課題であると認識している。

生涯学習課

家庭教育支援員

問 業務内容や役割は。

答 支援員を中心にチームを組織し、家庭教育に関する情報提供や相談を行う。保護者が安心して子育てや家庭教育ができる環境整備に努める。



産業厚生分科会

住民生活課

高齢者の保健事業と

介護予防の一体的実施

問 令和3年度の新規事業だが、具体的な内容は。

答 これまで別々に実施していた高齢者の保健事業と介護保険の地域支援事業を一体的に実施する。医療、介護、各種健診などのデータを活用して地域課題を分析し、地域の実情に合った保健事業を実施していく。75歳以上の方で低栄養状態や高血圧症の疑いがある方などを抽出して、訪問相談により医療機関への受診勧奨などにつなげていく。また、地域のサロン等の通いの場を活用し、保健師による健康相談や保健指導を行う。

健康福祉課

人間ドック

問 受診年齢を75歳まで引き上げられないか。

答 令和3年度に引き上げの検討をしていきたい。

子育て世代支援

問 子育て世代包括支援センターが中心となって、親子を対象とした事業は行えないのか。

答 健診事業に合わせて親子体操や相談、ヨガ教室などの事業を実施している。今後、新たな事業展開を検討していきたい。

空き店舗活用事業

問 改装された空き店舗は、いつから、誰が、どのように利用できるのか。

答 4月からJAふくしま未来大玉支店向かいの旧渡辺商店に開所を予定している。誰でも気軽に利用できるサロンのな施設とし、「NPO法人大地」が運営を行う。



平日の10時から4時まで利用できる
「まちなか ふれあい かよい路」

再生復興課

再生可能エネルギー

問 脱炭素社会に向けて自治体でも目標値の設定が必要ではないか。

答 国は2050年脱炭素を掲げている。村でも目標値を掲げなければならぬ。国の動向や住民の声を聞きながら進めたい。



産業課

飼料用米作付け

問 令和3年の飼料用米の作付け目標は。

答 主食用米の令和2年の実績と令和3年の作付け目標の差を飼料用米を含めた非主食用米への転換目標としている。令和3年の転換目標は58%である。

スマートインターチェンジ

問 予算書の説明に「広域的検討」とあるが、その内容は。

答 大玉村にとっての必要性や場所の検討を行う。国が調査する段階へのステップとなる。

水道料金

問 給水単価の見直しについて、今後の見直しを伺う。

答 現時点では経営の見直しは立っている。今後の給水量の増加に伴う新たな水源の開発、老朽管の更新などを考慮すると、給水単価の見直しの必要性を含め検討を始める時期に来ていると認識している。



予算審査特別委員会の審査意見

予算審査特別委員会の当初予算に対する審査意見は次のとおりです。



総務部

- ① 新たな公共交通システムのあり方の検討にあたっては、現在、利用している方々が不便を来たさないよう声を聞きながら進めること。
- ② 定住促進対策について、『来て「おおたまむら」住宅取得支援事業補助金』など新たな制度ができることから、既存の移住支援金事業補助金制度とあわせ、効果的な周知方法を検討し、更なる定住人口増加に努められたい。

教育部

- ① 小学校の鼓笛隊活動は、コロナ禍により引き継ぎができなかったが、一度途切れると復活させることが難しくなる。学習指導要領の改訂による授業時数の確保やGIGAスクールのタブレット導入に伴う先生方の多忙化など学校を取り巻く状況も理解できるが、伝統ある活動が継続されるよう検討されることを望む。
- ② 家庭教育支援活動について、新たな制度であることから内容を深く理解され、実効性のある事業となるよう努力願いたい。

住民福祉部

- ① 新型コロナウイルスに関して、ワクチン接種事業を含め全体的な相談業務の体制を整えること。
- ② 高齢者支援について、人間ドック事業の対象年齢拡大や虐待等の早期発見など、関係機関と連携のうえ充実を図ること。
- ③ 保育所の社会福祉協議会移管後の運営体制について充実を図ること。
- ④ 住民の安心・安全の観点から、生活道路への防犯灯設置事業及び大規模畜産農場の悪臭防止対策について引き続き取り組むこと。

産業建設部

- ① 農家の規模や実情に応じた細やかな支援及び有害鳥獣被害防止対策の更なる充実を図ること。
- ② 西部幹線道路をはじめとする村道の新設改良を更に進めること。
- ③ スマートインター広域的検討が村の振興発展につながる取り組みとすること。

3月定例会 議決結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第1号	令和2年度大玉村一般会計補正予算の専決処分（1月）の承認を求めることについて	原案可決
議案第2号	令和2年度大玉村一般会計補正予算の専決処分（2月）の承認を求めることについて	原案可決
議案第3号	大玉村議会議員及び大玉村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について	原案可決
議案第4号	大玉村社会教育指導員設置条例を廃止する条例について	原案可決
議案第5号	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第6号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第7号	大玉村税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第8号	大玉村保育所条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第9号	大玉村ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第10号	大玉村国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第11号	大玉村介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第12号	大玉村指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第13号	大玉村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第14号	大玉村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第15号	大玉村指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第16号	大玉村鳥獣被害対策実施隊設置条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第17号	大玉村消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第18号	大玉村総合福祉センターさくらにおける指定管理者の指定について	原案可決
議案第19号	大玉村産業振興センター及び大玉村ふれあい広場における指定管理者の指定について	原案可決
議案第20号	令和2年度大玉村一般会計補正予算について	原案可決
議案第21号	令和2年度大玉村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第22号	令和2年度大玉村玉井財産区特別会計補正予算について	原案可決
議案第23号	令和2年度大玉村農業集落排水事業特別会計補正予算について	原案可決
議案第24号	令和2年度大玉村介護保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第25号	令和2年度大玉村後期高齢者医療特別会計補正予算について	原案可決
議案第26号	令和2年度大玉村水道事業会計補正予算について	原案可決
議案第27号	令和3年度大玉村一般会計予算について	原案可決
議案第28号	令和3年度大玉村国民健康保険特別会計予算について	原案可決
議案第29号	令和3年度大玉村玉井財産区特別会計予算について	原案可決
議案第30号	令和3年度大玉村農業集落排水事業特別会計予算について	原案可決
議案第31号	令和3年度大玉村土地取得特別会計予算について	原案可決
議案第32号	令和3年度大玉村介護保険特別会計予算について	原案可決
議案第33号	令和3年度大玉村後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
議案第34号	令和3年度大玉村水道事業会計予算について	原案可決
議案第35号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決
議員発議第1号	大玉村議会会議規則の一部を改正する規則について	原案可決
議員発議第2号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書について	原案可決

条例・補正予算など可決

条例

大玉村議会議員及び大玉村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定

地方選挙における手不足解消を目的とした公職選挙法改正に伴い、実費負担となっていた選挙運動の自動車、ビラ、ポスターに係る経費を公費負担とするもの。なお、得票数が一定数に達せず供託金が没収となった候補者は公費負担の対象とはならない。

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

大玉村鳥獣被害対策実施隊設置条例の一部改正

わな猟免許取得者が隊員になった場合の報酬額を定めるとともに、現行の実施隊員定数「20人以内」を「40人以内」に改め、有害鳥獣を捕獲する隊員の確保を図ることで、イノシシに代表される有害鳥獣の個体数を減らし、農作物の被害軽減や人的被害の防止を図るもの。

大玉村消防団設置等に関する条例の一部改正

火災や災害、捜索や救助活動に出勤した場合の消防団員の出勤手当を日額3千円に引き上げるもの。

補正予算の専決処分(1月)

新型コロナウイルスワクチン接種経費
補正額 375万円

補正予算の専決処分(2月)

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

新型コロナウイルス抗原検査キット経費
補正額 194万円

畜産や果樹農家を対象とした農業経営持続化支援金
補正額 510万円

中小企業経営持続化給付金
補正額 1180万円

消防署の仮眠室個室化工事等のための安達地方広域行政組合消防費負担金
補正額 412万円

議会が注目する予算

農耕用運転免許取得推進事業補助金

補正額 200万円

問 12月の事業開始からの申請状況と補助の内容は、3月現在で86件の申請が出ている。取得に要した経費の5分の1、上限2万円を補助する。

令和2年度 3月補正予算

会計名	補正額	総額
一般会計	△ 1億8,229万円	59億3,331万円
国民健康保険特別会計	701万円	9億2,952万円
玉井財産区特別会計	—	694万円
農業集落排水事業特別会計	90万円	1億2,892万円
介護保険特別会計【保険事業勘定】	△ 199万円	7億7,404万円
後期高齢者医療特別会計	272万円	7,629万円
水道事業会計【収益的支出】	173万円	1億6,696万円

※議案第1号および第2号の一般会計補正予算専決処分(1・2月)の合計額は2,369万円です。
※玉井財産区特別会計は歳入歳出予算額を調整し、予算総額を変更しない補正である。

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦

須藤綾子氏(玉井字上額沢)の法務大臣への推薦について議会の意見を求められ、適任であると答申した。任期予定は令和3年7月1日から令和6年6月30日までの3年間。

3月定例会に提出された陳情

件名	提出者	付託委員会	審査結果
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について	二本松市高田 日本労働組合総連合会福島県連合会 二本松・安達地区連合 議長 高橋誉	産業厚生	採 択



町村議会表彰を受ける菊地利勝議長

全国町村議会表彰
2月9日に開催された第72回全国町村議会議長会定期総会において、本村議会の活動が表彰されました。2月25日の福島県町村議会議長会定期総会で表彰の伝達が行われました。

提出先

内閣総理大臣
厚生労働大臣
福島労働局長

議員発議

意見書1件を提出

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書



3月定例会では、3月4日に6人、5日に2人の議員が一般質問を行いました。質問と答弁を要約した内容は、質問順に10ページから17ページです。

おしやま 押し山 よしのり 義則	1. 令和3年度重点施策を検証する 2. 親水公園の設置計画を聞く	10ページ
わたなべ 渡邊 けいこ 啓子	1. コロナ禍の対応と今後の対策は 2. 空き家の利活用による定住促進を	11ページ
さわら 佐原 さゆり 百合	1. LINE 公式アカウント運用で情報発信を 2. 地域の空き家を価値ある資源に	12ページ
さいとう 斎藤 しんいち 信一	1. 大作田1号線地すべりの現在は 2. 幼稚園児の食育について	13ページ
すどう 須藤 ぐんぞう 軍蔵	1. 美しい村の環境を守るためには 2. 農家を応援する施策の充実を	14ページ
たけだ 武田 えつこ 悦子	1. SDGs の考え方を村づくりに	15ページ
すずき 鈴木 やすひろ 康広	1. 農業支援で豊かなふるさとを守る 2. コロナ禍での社会参加活動に支援を	16ページ
さくち 菊地 あつり 厚徳	1. 米や野菜、人を育てる直売所	17ページ

一般質問

ここが聞きたい！
8人の議員が登壇

※一般質問…議員が村行財政全般にわたって、村に対し説明を求めまたは所信をただすこと。大玉村議会の一般質問は一人30分以内で、答弁時間は含まない。



令和3年度重点施策を検証する

質問趣旨

コロナ禍での新年度に向けた施策展開や意気込みを伺う。

押山 8月に任期満了を迎えるが、村長選への意欲を伺う。

村長 10年後20年後の大玉村を見据え、施策に取り組んできた。残された課題を解決し、しっかりとした基盤をつくるため、村民の皆さまのご支持をいただければ、さらに4年間、村長としての責務を果たしたい。

押山 第五次総合振興計画における農業の位置づけと将来像を伺う。

村長 大玉村の長年の歴史と郷土を守るといふ観点からも、農業は大玉の主要産業と考えている。今後も農地と農業を守ることを最重要課題として取り組んでいく。



農福連携の拠点となるか…
(横堀平応急仮設住宅跡地)

押山 農業振興公社設立が村の抱える諸問題解決の道標となつて欲しい。事業の特性や利便性が生かせる企業集合体のような公社設立を望むが、考えを伺う。

村長 SDGsの考え方のもと、福祉との連携、民間企業の参入、大学の協力など官・民・学に加え、金融機関との提携など、他にないような特色ある公社の実現に取り組んでいきたい。

押山 多面的機能支払交付金事業の広域化のため、土地改良区への支援の充実について伺う。

村長 村として全面的に協力して進めていく。

親水公園の設置計画を聞く

質問趣旨

村民憩いの場としての親水公園設置に向け、内容と具体的な計画を伺う。

押山 「村民の声を聴く会」でも公園の必要性が多数訴えられた。施政方針で示された親水公園の設置について具体的な事業概要を伺う。

産業建設部長 第五次総合振興計画のアンケートでも公園や観光についての要望があった。また都市計画マスタープラン

策定に向けた村民会議でも、子どもも大人も楽しめる遊び場や自然資源を有効活用したレクリエーション施設など多数の提案が寄せられた。令和3年度から場所や整備の内容など具体化に向けた検討を進めていきたい。



村民の憩いの場となる親水公園の設置を

渡邊啓子議員



コロナ禍の対応と今後の対策は

質問趣旨

新型コロナウイルス感染症の発生から1年余り。本村のこれまでの取り組みを検証し、今後の見通しを伺う。

渡邊 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策や地域経済、住民生活を支援するためにどのような取り組みをしてきたか。また、事業費と財源の内訳を伺う。

政策推進課長 現在、交付金を活用し53事業に取り組んでいる。総事業費は約3億1500万円であり、財源は国の交付金が約2億9900万円、一般財源は約1600万円である。主な事業は、マスク等購入のための助成に4800万円、デマンドタクシーとスクールバスの増車に2500万円、中小企業経営持続支援に4300万

円、避難所感染対策に2300万円などである。**渡邊** 新型コロナウイルスワクチン接種は2市1村と安達医師会で協議を進めていると聞いた。接種に向けた体制づくりや時期の見直しは。

住民福祉部長 安達管内一体となった体制を作っている。ワクチン接種は安達医師会の協力により、65歳以上の高齢者から接種を開始し、その後、接種対象年齢を広げていく。4月下旬ごろが接種開始時期と見込んでいる。接種方法などの詳細については、医師会と協議を重ねていく。



安心して生活できるのはいつの日か

空き家の利活用による定住促進を

質問趣旨

コロナ禍で地方移住への関心が高まっている。移住者を増やすチャンスと捉え、空き家の利活用促進を望む。

渡邊 本村の空き家の実態を伺う。管理不全により老朽化した危険な特定空き家はあるか。

総務部長 空き家は多数あるが、現時点で特定空き家はない。

渡邊 令和元年度のアンケート調査では、空き家を解体したいとの回答が11件あった。老朽化した空き家の解体費用の補助を検討してはどうか。空き家の適正管理の促進をどう考えるか。

総務部長 空き家の所有者に適正管理の必要性を周知し、意識の啓発を行っている。解体後の使用目的が定住促進につながる場合は、解体費用の補助を検討していきたい。

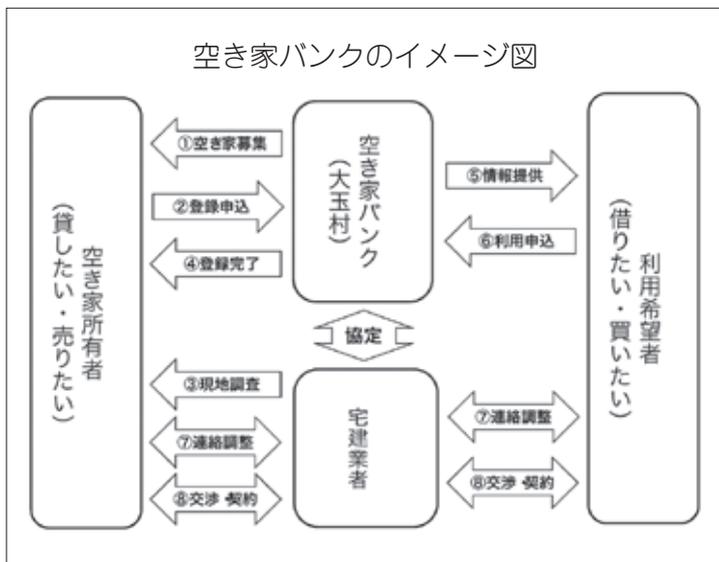
渡邊 空き家の実態調査は行っているのか。**政策推進課長** 空き家は個人の財産であるうえ、空き家に見えるが使用実態があるなどの諸事情もあり、なかなか調査が順調に進まない。住民からの情報を得ながら引き続

き調査を行っていく。**渡邊** 本村の空き家バンクの実績は。

総務部長 登録件数は3件で、うち2件は売却済み、1件は賃貸が決まった。**渡邊** 空き家の利活用を促進し、移住者を積極的に受け入れる体制づくりが必要である。考えを伺う。

村長 イターン、Jターンを受け入れるには住居の確保は急務である。利用できる空き家の確保に努めたい。

空き家バンクのイメージ図

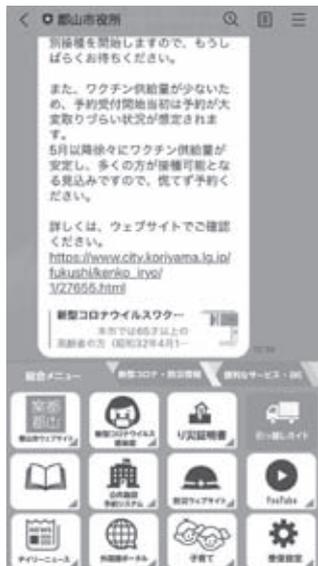


LINE公式アカウント運用で情報発信を

質問趣旨

幅広い年齢層がLINEを利用している。LINE公式アカウントを運用して村の情報を発信する人材を検討できないか。

佐原 佐百合 議員



LINEを使った情報発信（郡山市）

佐原 LINE公式アカウントの運用をはじめている自治体がある。本村でも新たな情報伝達手段としての運用を考えられないか。

総務部長 有料ビジネスプランは公式ホームページと連携が図られ、事務作業の軽減になる。導入には経費が必要となるため、費用対効果を十分に検討したい。

佐原 スマートフォンの普及とネットワーク環境の発展により、情報発信の手段が増えて、職員の業務も増しているのではないか。現状を伺う。

総務部長 セキュリティ対策や情報管理、調査に伴うメール対応などで業務量は増えている。村からの情報発信は速さより正確さが重要である。不確実な情報で混乱を招かぬよう、今後も基本に忠実で正確な情報発信を続けていきたい。

佐原 情報を発信する人材を一般公募で募集する考えはあるか。

総務部長 昨年、各種関係機関やウェブサイトで等々募集を行ったが応募がなかった。

村長 今後は、内部での人材育成を含めて検討していきたい。

地域の空き家を価値ある資源に

質問趣旨

便利な場所に新築住宅が増える一方で、空き家が増えている地域もある。空き家を早期活用できる対策を望む。

佐原 「大玉村空家等対策計画」を周知する方法は。

総務部長 昨年3月にチラシを全戸配布した。さらに空き家等の所有者に空き家バンク登録の案内を行った。公式ホームページや昨年8月号の「広報おたま」に掲載し周知を図った。他の自治体では、固定資産税納付通知書の封筒にお知らせを印刷し効果をあげている例もあり、今後検討していきたい。

佐原 空き家等の適正管理などの相談や所有者と利用者をつなぐ役割は誰が担うのか。

総務部長 令和元年12月に公益社団法人福島県宅地建物取引協会と空き家バンク事業に関する協定を締結し、相談等を行っている。相談内容により関係各課と調整を図

りながら対応したい。

佐原 空家実態調査や情報提供により、把握した空き家等はどうのように管理されるのか。

総務部長 空き家は個人の財産である。所有者が介護施設に入所中の場合や相続問題で難しい案件が多い。空き家バンクに登録した物件をホーム

ページ等で公開している。

佐原 空き家バンクに登録する方や情報を提供する方への助成制度は考えられないか。

総務部長 提供された情報を精査して正確に情報を発信する必要があるため、対応が可能か検討したい。



総務省の空き家対策の事例として紹介されている固定資産税納付通知書の封筒（宮城県栗原市）

齋藤 信一 議員



大作田1号線地すべりの現在は

質問趣旨

令和元年東日本台風による斜面崩壊から1年以上経過するが、現場は災害発生当時のままである。

齋藤 災害発生から現在までの経緯を伺う。

産業建設部長 令和元年10月12日の夕方から未明にかけての豪雨で、斜面の不安定化による大規模な崩壊が発生した。15日に国土交通省防災課が緊急調査に入り、表層崩壊か地すべりかの見極めを行い対応するよう助言を受けた。その後、専門家による地形解析、現地確認の結果、地すべりとの判断がなされた。範囲などの特定のため、専門業者による調査や会議、国・県との協議を行ってきた。

齋藤 住民説明は十分だったか、開催場所は適切だったか伺う。

産業建設部長 令和2年1月に東部ふれあいセンターで住民説明会を開催し、土砂を撤去できない理由や工事完了の見通し、下流域の水田の耕作を可能にするための仮設水路計画

の説明をした。今後、要望があれば改めて説明会の開催を検討していく。

齋藤 農地や道路に流出した土砂の撤去だけでも早急にできないか。

産業建設部長 応急工事を実施できないか国や県と協議してきたが、安全性が確保できないため断念した。

齋藤 完全復旧までの正確な年月を伺う。

産業建設部長 令和3年中に国の災害査定を受け、令和5年3月末を復旧工事完了の目標としている。



早期復旧が待たれる大作田1号線

幼稚園児の食育について

質問趣旨

好き嫌いや偏食が多い子どもが増えている。幼児期の食育が重要だと考える。

齋藤 共働きで弁当を作る余裕がない家庭が増えている。朝食にお菓子を食べてくる園児もいる。幼稚園児の食の実情を把握しているのか伺う。

教育長 栄養バランスなどの課題を抱える家庭もあると捉えている。保護者との面談などを通して、保護者に理解してもらうことが一番と考えている。今後も家庭への働きかけを進めていきたい。

齋藤 幼稚園の給食について保護者にアンケートを取っているか伺う。

教育長 本宮方部学校給食センターの供給量に余裕が無いことから、給食に関するアンケートは取っていない。

齋藤 幼稚園3年保育や子育て支援センターの説明会で保護者から給食施設の要望が出ていると

思う。意見や要望に対して、どのように考えているか伺う。

教育長 施設や費用の面から新たな施設を造るのは現実的ではないと考えている。

齋藤 野菜汁を週に1、2回、おたまた村づくり株式会社などが提供

する仕組みは作れないか。

教育長 実施するには学校給食法に基づいた厳しい基準を満たす必要がある。また、アレルギーを持つ園児の対応も必要になる。課題が多くあるが、今後の在り方について研究していきたい。



栄養のバランスは大事

美しい村の環境を守るためには

質問趣旨

農場の悪臭対策や景観を守るために村が取り組むべきことについて伺う。



小高倉地区環境調査（7月21日）



須藤 軍蔵 議員

須藤

大玉5区地

内で産業廃棄物処理場らしき場所がある。囲いもなく原料が露出している状況がみられる。所有者の確認や、施設の経過を把握しているのか。また、この状況に対する村の考えを伺う。

住民福祉部長

郡山市

内の事業者が金属やプラスチック類を野積みしていることを平成29年に確認している。その後、県北地方振興局、郡山警察署本宮分庁舎、村の3者が合同で現地確認等を行っている。事業者を交えて協議を進めているが、さらに県と連絡を取りながら監視等を進めていく。

須藤

大玉村議会として、小高倉の2農場への環境調査を平成28年から6回行っている。村はいつどのような指導をしているのか。現状はどうなっているのか。

住民福祉部長

養鶏場

には令和2年に2回、県北家畜保健衛生所や県北地方振興局、役場の3者により立ち入り調査を行っており、その都度指導している。畜産農場にも昨年12月に県北地方振興局が調査を実施している。臭いの軽減対策は継続していることを確認した。

農家を応援する施策の充実を

質問趣旨

田畑に携わってこそ農民。生産意欲を後押しする事業の継続と充実を求める。

須藤

原発事故から10年、福島は復興は進んでいるのか。特に農業についてはどうか、村長の見解を伺う。

村長

原発事故で大玉村の主産業である農業は大変なダメージを受けた。ここ数年で農作物の価格は原発事故前に近づいてきたと言われているが、実際はまだまだと感

じている。生産者の努力だけでは無理なことも多い。国・県・消費者も含めた関係者が協力し、風評を払拭するような努力が必要だと思う。

須藤

農業機械の共同購入などこれまで行われてきた農業支援施策は好評だが、コンバインなどの保守点検にも助成をすべきではないか。

産業建設部長

近隣の自治体で実施している事例を参考にしながら、村

内の農家に必要な支援を検討していきたい。

直売会の意見を聞きながら、直売所に出荷するための応援体制を強化できないか。

副村長

生産者の高齢化が進み、出荷等について不便が生じていると聞

いている。消費者に喜んでいただける品揃えにしていくためにも、出荷への応援は必要だと思う。おおたま村づくり株式会社役員会で議論しており、応援体制作りに取り組んでいきたい。



生産意欲を後押しする農業支援の継続を

武田悦子議員



SDGsの考え方を村づくりに

質問趣旨

誰一人取り残さない社会を実現するために自治体が取り組む施策は何か。



武田 東日本大震災から10年、その余震と言われる地震が2月13日に発生した。災害発生時、自分で自分の身を守れない方、一人暮らし高齢者や障がいを持つ皆さんの安否確認は行われたのか。

住民福祉部長 災害発生直後に約80件の安否確認を行っている。

武田 行政の職員だけでなく、社会福祉協議会の職員も含め、安否確認やその後の支援につながる情報収集に取り組むべきではないか。

副村長 社会福祉協議会と健康福祉課が共同で、発災後の支援について

のマニュアル策定を進めていきたい。

武田 新型コロナウイルス感染症の影響がさまざまなところに出てくる。経済的な支援はもちろん重要だが、精神的な支援も大変重要だと思う。全国的には自殺者が増加していることから

も、相談できる窓口の充実や機会の拡充が必要ではないか。

住民福祉部長 自殺は大きな問題と認識している。こころの健康相談や子育て世代包括支援センターでの相談、産後ケア事業などでの相談を実施している。

武田 あらゆる場所のあらゆる貧困をなくすために取り組むべきことは何か。厚生労働省の調査では所得が200万円以下

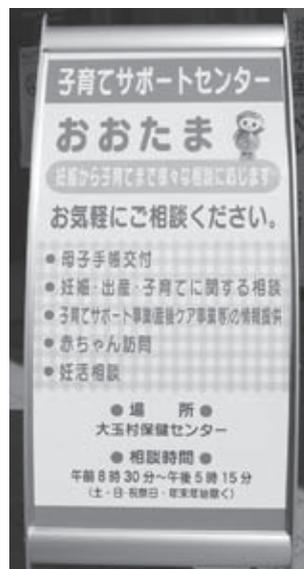
の世帯が2割に上っている。新型コロナウイルス感染症の影響でもっと増えているのではないかと状況を把握しているのか。

住民福祉部長 村内の具体的な貧困の状況を把握するような調査や制度はないが、情報収集をし、把握に努めていきたい。

武田 コロナの影響で大学等をやめざるを得ない学生も出ている。子どもたちが質の高い教育を受けるためにも、村が奨学金制度を作るべきではないか。またその他の支援は考えているのか。

教育長 給付型奨学金制度を作りたいと考えている。令和3年度に基本設計と制度設計を行い、令和4年度から支給を開始したい。

村長 学びを支援するため、大学生や高校生に図書購入費を支給したい。
武田 障がいの差別をなくし尊厳を守ることが



さまざまな相談に対応している子育て世代包括支援センター

国際的にも大きな流れになっている。障がいを知ることには尊厳を守るためにも大切なことだと思いが、村が行ってきた取り組みは何か。

住民福祉部長 障がい者基本計画や障がい者福祉計画等で「相互理解の推進」「快適で人にやさしい環境づくり」などの目標を立てている。対象者のみの計画ではなく、村全体の計画だと認識している。

武田 村政執行基本方針で「大玉村障がい者支援条例の制定」をめざしていくとしているが、具体的にはどのような内容か。

村長 障がいには数多くの種類があるが、それらに関わらず、共に生きる村づくりという理念のもと、総合的な障がい者支援条例を令和3年度中に作りたい。理念だけではなく、しっかりと実施できる内容の条例にしていきたい。

他に次の質問がありました。
・子育て支援センター併設の住民交流施設の構想は



農業支援で豊かなふるさとを守る

質問趣旨

担い手不足の現状を踏まえ、ドローン導入による農業経営持続の可能性を検証する。

鈴木 農業用ドローン導入による生産コスト削減の新聞報道があった。農業用ドローンを導入する場合、費用はどのくら

いだろうか。**産業建設部長** 低コスト化と多収穫米は必ずしもイコールではない。め

ざす米のブランド化は大玉村の米のおいしさを科学的に立証することで全体的底上げをしていきたいという考えで進めている。

鈴木 米のブランド化に加え、低コストで多収穫米の検討も必要ではないか。

産業建設部長 国内の米の需要量はここ数年間で毎年10万トずつ減っている。人口減少やコロナ禍

による需要量の減少、作況指数によっては令和3年度の米価下落が懸念されている。なお、本村の令和2年産の生産量は、主食用米が4573トン、飼料用米が71トンである。



ドローン導入で農業の効率化を

いかかるのか。また農業振興公社がドローン導入の支援をできないか。**産業建設部長** 導入には技能講習の受講や国・県への許可申請が必要であり、機械価格は大ききや付属機器にもよるが100万円から300万円程となっている。農業振興公社での事業は設立検討委員会でも検討中だが、当初から全てに対応することは難しいと考える。設立後に機会を捉え協議、検討していきたい。

鈴木 活動再開には感染防止対策に要する経費もかかる。新型コロナウイルス感染症対策を目的とした支援金を給付できないか。

教育部長 体育協会やスポーツクラブでも県・市の緊急事態宣言解除後、感染防止対策をとりながら活動を再開している。

鈴木 老人クラブやサロン、体育協会などの各団体の活動状況は。**住民福祉部長** 新型コロナウイルスの感染が拡大した時期は、老人クラブやサロンの事業は縮小や中止となっている。現在は感染防止対策をとりながら少しずつ活動を再開している。

コロナ禍での社会参加活動に支援を

質問趣旨

社会参加活動は運動不足やストレスの解消、生きがいづくりになると考える。

住民福祉部長 老人クラブ連合会、地域ごとの老人クラブとも事業の中止あるいは縮小をしており、若干予算に余裕があると理解している。今後の各老人クラブの決算状況を見ながら、必要であれば対応する考えである。



活動を再開したスポーツ民謡会

菊地厚徳議員



米や野菜、人を育てる直売所

質問趣旨

直売所を拠点に地域を支える多様な農家を育成できないか。

菊地 本宮方部学校給食センターでは地元産の米が使用されている。米以外で地元産は使用されているか伺う。

教育部長 地元産は、ジャガイモ、白菜、ネギ、大根などの野菜類やリンゴが使用されている。県の令和2年度学校給食における地場産物活用状況調査によると、本宮方部学校給食センターの地元産食材の使用割合は、県平均の22・2%を上回る28・5%である。

菊地 現在直売所に出荷している農家の収入を増やす方法は。

産業建設部長 直売所の運営はおおたま村づくり株式会社指定管理委託をしていることから、販売方法は直売所が直売会と十分協議しながら進めていくと考えている。村としては端境期等の出荷量確保の観点から、ビニールハウスの設置補助を行っている。端境期の野菜量を確保し十分な供給をすることで、収入の増加も見

込めるとみている。風評被害払拭も含め、PRなどの支援を続けていきたい。

菊地 直売所の多様な人材の確保はどのように考えているか。

産業建設部長 直売所に出荷している生産者には、古くからの野菜作りをされている方や少量多品種に取り組んでいる方がいる。多種多様な人材を直売会や直売所と十分に連携しながら支援していきたい。

菊地 生産者が農業に興味のある方に自分の生産方法を引き継ぐことで、人材の育成につながるのではないか。考えを伺う。

産業建設部長 生産方法を引き継ぐことが人材育成につながるという考えは、直売所に出荷している方だけでなく、村内の農業者全体にも関わってくる。村としては、引き続き小中学生も含めた村民の方々に農業や農家のありようを理解いただき、生産方法等を引き継ぐ人材を育成していく考えである。



大玉村の農業を支える直売所



明日を担う新成人に聞きました!

新成人の声

新型コロナウイルス感染症拡大のため延期となっていた成人式が5月2日に行われました。

新成人を代表して、成人祭実行委員の4名の声を紹介します。



武田 優香 さん

成人を迎えて挑戦したいこと

私は20歳になったら、全都道府県を制覇したいです。都道府県のいい所やおいしい食べ物を食べて、絶景を見てゆっくり過ごしたいなあと思います。今は、この状況なので行きたい場所をいろいろ調べたいと思っています。



鈴木 錬 さん

成人を迎えて挑戦したいこと

自分の夢に向かって行動したいです。自分は今までいろいろな人にお世話になり今の自分があります。その感謝の気持ちを忘れず、恩返しをするために行動していきたいと思います。大玉村が自慢できるような人になります。



成人式



官野 優哉 さん

どんな大玉村にしていきたいか

大玉村は、人口が増え続けている村です。私も村の魅力を発信し、みんなが住みたいと思う村にしていきたいです。



大谷 思歩 さん

どんな大玉村にしていきたいか

私は、田んぼ通りから見る安達太良山の景色が大好きです。これからも美しい大玉村を守り、たくさんの人に愛される村にしていきたいです。



成人式後の「成人祭」は実行委員の皆さんが企画や準備をしてきました

議会広報編集特別委員

- 委員長 ● 佐原 佐百合
- 副委員長 ● 斎藤 信一
- 委員 ● 渡邊 啓子
- 委員 ● 菊地 厚徳
- 委員 ● 武田 悦子
- 委員 ● 押山 義則

(佐原佐百合)

全国的にワクチンの接種が始まりましたが、あらゆる場面において新型コロナウイルス感染症予防対策の継続が必要です。議会活動も会議や研修の方法が変わり行事への参加も減りましたが、村民の皆さんに寄り添った活動ができるように心がけてまいります。

編集後記

コロナ禍で迎える2度目の春です。私たちの生活様式は変わりましたが、田んぼの水面には安達太良山が映り、今までと変わらない田植えの時期の美しい景色が広がっています。